

## 高等部の生徒が作業技能大会に参加しました。



いよいよ来週から2学期が始まります。

先生たちから報告される「家庭訪問の記録」を読みながら、子供たちの夏休みの生活の様子を想像し、始業式に子供たちに会うのを期待する日々が続いています。

さて、8月9日高等部の生徒は、ビックパレットで開催された「第5回特別支援学校作業技能大会」に参加してきました。生徒たちにとっても、本校としても、初めての作業技能大会です。今年のスローガンは、「やる気、本気、熱気！」です。本校からは、作業技能検定部門「ビルクリーニング」に2名、「サテライトコート・テーブル拭き部門」に3名参加しました。5名とも作業の流れに沿って、資機材の調整からはじまり、ダスタークロスによる拭き掃除、モップによる拭き掃除と、これまでの練習の成果を発揮しました。また、会場内には、各校のブースが設けられ、本校においても、学校紹介や作業学習のパネルとともに、全員が心を込めて作ったトマトやピーマンなどの野菜を“おいしく見える工夫”をして展示しました。



私は、今回初めて「品評審査」に参加しました。短時間で、各校の代表生徒のプレゼンを聞いて、作業製品の良さを確認して、評価をするのはとても大変でした。

プレゼンは、どの学校も、わかりやすい提示をしながら、はっきりと丁寧に要点をしばって行っていました。元気があって笑顔があるプレゼンは、聞いている方も笑顔になります。今回、本校は「作業製品品評・展示」に参加しませんでした。来年は「笑顔になるプレゼン」をめざして頑張りたいと思いました。

本校の、作業学習は、中学部から始まります。生徒一人一人の夢に実現をめざして、作業技能の向上はもちろんのこと、働く楽しさや豊かに生きる楽しさも育てていきたいと考えています。

平成29年8月

～児童生徒一人一人の夢の実現をめざして～

福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子

